

進路指導者懇談会

法学部の入試について

募集人員と日程

*関係資料「入学者選抜要項」2～3頁

	法律学科	政策科学科	試験日程(予定)
一般選抜 前期日程	100人	40人	2027年2月25日(木)
一般選抜 後期日程	14人	10人	2027年3月12日(金)
学校推薦型選抜	57人	22人	2026年11月29日(日)
外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	2027年2月7日(日)
帰国子女学生特別選抜	若干名	若干名	同上
編入学(学士入学含む)	若干名	若干名	2026年9月6日(日)

一般選抜（前期・後期）

*関係資料「入学者選抜要項」7頁

I. 共通テスト3教科3科目（200点×3=600点）

①国語

②外国語（英<リスニング含む>・独・仏・中・韓から1科目）

③下記の教科から1科目

○地歴・公民

（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総/歴総/公共」「公共、倫」「公共、政経」から1科目）

○数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」から1科目）

○理科（「物基/化基/生基/地基」「物」「化」「生」「地」から1科目）

○情報（「情報Ⅰ」）

II. 個別の試験

前期：小論文（90分・300点）

後期：小論文（60分・200点）

学校推薦型選抜

*関係資料「入学者選抜要項」13頁

推薦要件 平均評定値3.8以上
(「学校長推薦枠」数に制限はありません。)

個別の試験等 (400点)

I. 小論文(90分、300点)

II. 資格取得等申告書、推薦書および調査書 (100点)

「小論文」試験（推薦・一般前期）の形式・近年の出題傾向

①まとまった字数の課題文

★近年は6000字前後

②解答の分量は合わせて800字程度

★近年は2問（要約・意見）

課題文の要旨の把握（読解力）

受験生がどれだけ論点を的確に提示し、自己の見解を論理的に説得力ある形で展開しているか（自説展開力）

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

2027(R9)年度より、一般選抜・前期の科目等の欄に「「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う」という説明が記載された

「公共」の学習を前提 の意味

- ・ 課題文の選定範囲の明確化
- ・ 法学部で課される「小論文」に受験生が試験対策として取り組む際のアドバイス
- ・ 高校での「公共」の日々の学習を大切にしてほしいというメッセージ

社会の諸問題に対する知識 の記述の取り扱い

- ・ 少なくとも2028(R10)年度入試までは、小論文の形式等は従前どおり
 - 自説展開力を見る際に評価するに留め、個別に知識のみを問う小問は出ない

「小論文」試験（推薦・一般前期）の対策

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

- ①自身の主張をわかりやすく他人に伝えられるか
 - ←論理的で説得力のある文章を書く
 - 「書く」力を獲得するために「読む」「読解する」
- ②様々なトピックに対して関心を持ち、さらに問題意識を有しているか
 - ←社会を取り巻く状況に対しアンテナを張って「知る」
 - 社会の諸問題について、自身の問題として「考える」姿勢を持つ

→読解・整理・要約する力、自己の見解を論理的・説得的に論述する力

「小論文」(推薦・一般前期)評価のポイント

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

- ①課題文を読解できているか(読解力)
- ②「何について」問われているのかを理解して解答しているか
…「問い」への対応の適切さ(意図を理解し的確に対応する力)
- ③自分の言葉で、自身の意見等を論理的・説得的に論述できているか(自説展開力)
…課題文の中にある視点・ヒント等も手掛かりにして、議論を展開できているか
- ④日本語の文章表現として正確・適切か(文章表現力)

⇒大学HP「入試情報」で過去の出題をチェック!

「出題の意図」(課題文選択の背景、受験生に何を望むか)、「解答例」

※今年度より、「採点の講評」も記載しています。

例：2026年度推薦「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

課題文：田中将人『平等とは何か —— 運、格差、能力主義を問いなおす』
(中公新書2846)(中央公論新社、2025年3月)

問1：課題文を要約しなさい。(340字以内・150点)

問2：課題文で登場する「くじ引き入試制」と「ロトクラシー」のそれぞれを導入することについて、あなたの賛否を明らかにし、その理由を説明しなさい。なお、回答するにあたり、現行憲法の実際の条文について考慮する必要はない。(480字以内・150点)

例：2026年度前期「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

問1：公表している解答例

昔は生まれで身分や職業が決まっていたが、能力主義の社会ではそれは認められない。その意味で能力主義は正義にかなう。しかしAAが実施されれば、高得点でも不合格となる者が現れ、その不公平さ故、AAと能力主義は緊張関係に立つこととなる。また、能力主義の理想は不平等の解決ではなく、不平等の正当化であり、社会を分断化する恐れがある。その改善策のひとつとして、くじで合格者を決めるくじ引き入試制が提案されている。その選挙バージョンがロトクラシーであり、代表者をくじで選ぶという提案である。普通選挙が行われても秘密投票が充分機能しないために、投票による代表には限界がある。くじで代表者を決めることで、特定の層だけが政治家になりやすい現状が改善される可能性があり、政治上の平等を推進できる。

○入れるべきポイントが複数ある

→うまく文章化し、制限字数内でまとめることができるか。

例：2026年度前期「小論文」

*関係資料 大学HP入試情報
「過去の入試問題等」
「解答例」「出題の意図」

問2：課題文で登場する「くじ引き入試制」と「ロトクラシー」のそれぞれを導入することについて、あなたの賛否を明らかにし、その理由を説明しなさい。なお、回答するにあたり、現行憲法の実際の条文について考慮する必要はない。(480字以内・150点)

- ×筆者の見解への賛成・反対を論じてしまう。
- ×「くじ引き入試制」と「ロトクラシー」のどちらか一方にしか言及していない。
- ×両方に言及してはいるが、賛否の理由の説明が一方に偏っている。
- ×「くじ引き入試制」と「ロトクラシー」を混同して、理由を述べている。
- ×課題文の内容を繰り返しているだけで、私見がほとんど書かれていない。
- ×日本語の文章として誤りがある（誤字・脱字、常体と敬体の混用など）。

「小論文」(一般選抜後期)試験について

2027年度より新規

「法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う」

- 法学や政策に対する興味と熱意
 - 法学や政策と社会との関わりへの知識・関心
- に焦点をあてた出題

①まとまった字数の課題文を読ませる形式ではない ものを予定

→ 問い(複数)に対し、与えられた字数の中で、過不足なく適切に答えられるよう、構想を練り、自分の考えを、論理的に表現できる力を見る

②解答の分量は全体で600字程度 を予定

入試に関する詳細な情報は

- ①大学HP「入試情報」(過去の入試問題等は「学部の入試情報」内にあります。)
お手元の「入学者選抜要項」、(入試区分ごとの)「学生募集要項」
- ②法学部オリジナルサイト<https://www.kitakyu-u.ac.jp/law/>
でも順次情報をアップしていく予定です。

